

令和2年7月6日

新宮中学校保護者の皆様

新宮町立新宮中学校
校長 藤田 勉

水難事故等の未然防止について（お願い）

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のことと拝察いたします。感染症及び熱中症未然防止対策をはじめ、生徒の安全・安心な日常生活のため、様々にご配慮いただき心より感謝申し上げます。

さて、気温の上昇に伴い、全国的に子どもの水難事故が多発しております。また各地で大きな水害なども起きており、これからは自然についての危機意識を一層高めることが必要となります。

つきましては、下記の点について、各ご家庭でも注意喚起を確実に実施していただきますようお願いいたします。

記

1 各ご家庭の話合いで確認いただきたいこと

子どもの重大な水難事故は、わずか十数センチの水深でも起こります。足を少しぬらすくらいだからという油断が、子どもの水難事故を招く可能性があります。

また、海や川などの自然の水辺は、穏やかに見えても**離岸流等**の流れや波があり、水底も平らではありません。前日までの大雨により、河川が増水し流れが速くなる場合もありとても危険です。

2 各ご家庭でご指導いただきたいこと（水難事故防止対策等）

(1) 子どもだけでは、絶対に海や河川で遊んだり、水に入ったりしないこと。特に、転落等の恐れがある場所や藻が繁茂している場所、深みのある場所等の危険箇所には近づかないこと。【危険箇所の把握】

(2) **風雨、落雷等天候不良時**や**河川・用水路等増水時**には、保護者の付添いのもとであっても、**海や河川・用水路には絶対に近づかない**こと。【的確な状況判断】

(3) 掲示板や標識などで危険区域と示された区域内に入らないこと。

特に、本年度は感染症拡大防止対策のため、新宮海水浴場は開設されません。海の家の営業はなく、ライフセーバーも配置されません。水難事故はもとより、不審者被害の上でも大変危険な状況です。**今夏は新宮海岸での遊泳等は禁止とします。**【安全確保】

(4) 常に、自分の命は自分で守るという意識をもって行動すること。【自助の精神】

3 備考

《令和元年夏期における水難発生状況》（令和元年における水難の概況 警察庁）

○発生場所 : 海（59.3%） 河川（33.0%）

○行為別 : 水遊び（27.1%） 水泳（17.5%）

※子どもの死者・行方不明者のうち50%は「水遊び」によるもの